



中华全史

白话文版

# 中華全史

【第二冊】

后漢書 三國志 晉書

## 第二册

# 目 次

### 《后汉书》

光武帝纪	(815)
显宗孝明帝纪	(827)
肃宗孝章帝纪	(831)
孝和帝纪	(836)
孝殇帝纪	(841)
孝安帝纪	(842)
孝顺帝纪	(848)
孝冲帝纪	(853)
孝质帝纪	(853)
孝桓帝纪	(855)
孝灵帝纪	(860)
孝献帝纪	(865)
皇后纪序	(869)
光武郭皇后纪	(870)
光烈阴皇后纪	(870)
明德马皇后纪	(871)
贾贵人传	(873)
章德窦皇后纪	(873)
和帝阴皇后纪	(874)
和熹邓皇后纪	(874)
安思阎皇后纪	(877)
顺烈梁皇后纪	(877)
虞美人传	(878)
陈夫人传	(878)
孝崇扈皇后纪	(878)
桓帝懿献梁皇后纪	(878)
桓帝邓皇后纪	(879)
桓思窦皇后纪	(879)
孝仁董皇后纪	(879)
灵帝宋皇后纪	(880)
灵思何皇后纪	(880)

献帝伏皇后纪	(881)
献穆曹皇后纪	(881)
刘玄传	(882)
刘盆子传	(884)
王昌传	(886)
刘永传	(887)
张步传	(888)
李宪传	(888)
彭宠传	(888)
卢芳传	(889)
隗嚣传	(890)
公孙述传	(894)
齐武王刘纁传	(896)
北海靖王刘兴传	(897)
赵孝王刘良传	(897)
城阳恭王刘祉传	(897)
泗水王刘歎传	(898)
安成孝侯刘赐传	(898)
成武孝侯刘顺传	(898)
顺阳怀侯刘嘉传	(898)
李通传	(899)
王常传	(900)
邓晨传	(901)
来歎传	(901)
邓禹传	(902)
寇恂传	(904)
冯异传	(906)
岑彭传	(908)
贾复传	(910)
吴汉传	(911)
盖延传	(913)
陈俊传	(914)
臧宫传	(915)
耿弇传	(916)
铫期传	(918)

王霸传	(918)	苏竟传	(955)
祭遵传	(919)	杨厚传	(956)
任光传	(921)	郎顗传	(957)
李忠传	(921)	襄楷传	(961)
万脩传	(922)	郭伋传	(962)
邳彤传	(922)	杜诗传	(962)
刘植传	(922)	孔奋传	(963)
耿纯传	(923)	张堪传	(964)
朱祐传	(924)	廉范传	(964)
景丹传	(924)	王堂传	(965)
王梁传	(925)	苏章传	(965)
杜茂传	(925)	羊续传	(966)
马成传	(925)	贾琮传	(966)
刘隆传	(926)	陆康传	(966)
傅俊传	(926)	樊宏传	(967)
坚镡传	(926)	阴识传	(968)
马武传	(927)	朱浮传	(968)
窦融传	(928)	冯飚传	(969)
马援传	(931)	虞延传	(970)
卓茂传	(936)	郑弘传	(971)
鲁恭传	(937)	周章传	(971)
魏霸传	(938)	梁统传	(971)
刘宽传	(939)	梁冀传	(972)
伏湛传	(939)	张纯传	(975)
侯霸传	(940)	曹褒传	(976)
宋弘传	(940)	郑玄传	(977)
蔡茂传	(941)	郑兴传	(978)
冯勤传	(941)	范升传	(980)
赵憙传	(942)	陈元传	(980)
牟融传	(943)	贾逵传	(981)
韦彪传	(943)	张霸传	(982)
宣秉传	(944)	桓荣传	(983)
张湛传	(944)	丁鸿传	(983)
王丹传	(944)	张宗传	(985)
王良传	(944)	法雄传	(985)
杜林传	(945)	滕抚传	(985)
郭丹传	(946)	冯绲传	(986)
吴良传	(946)	度尚传	(987)
承宫传	(946)	杨璇传	(987)
郑均传	(947)	刘平传	(988)
赵典传	(947)	赵孝传	(988)
桓譚传	(947)	淳于恭传	(988)
冯衍传	(949)	江革传	(989)
申屠刚传	(952)	刘般传	(989)
鲍永传	(953)	周磐传	(990)
郅恽传	(954)	赵咨传	(990)

班彪传	(991)	仲长统传	(1028)
班固传	(992)	孝明八王传	(1028)
第五伦传	(993)	李恂传	(1030)
钟离意传	(995)	陈禅传	(1030)
宋均传	(996)	庞参传	(1030)
寒朗传	(997)	陈龟传	(1031)
光武十王列传序	(997)	桥玄传	(1032)
东海恭王刘强传	(997)	崔驷传	(1033)
沛献王刘辅传	(998)	崔瓌传	(1034)
楚王刘英传	(998)	崔寔传	(1034)
济南安王刘康传	(999)	周燮传	(1036)
东平宪王刘苍传	(999)	黄宪传	(1036)
任城孝王刘尚传	(1001)	徐穉传	(1036)
阜陵质王刘延传	(1001)	姜肱传	(1037)
广陵思王刘荆传	(1001)	申屠蟠传	(1037)
临淮怀公刘衡传	(1001)	杨震传	(1038)
中山简王刘焉传	(1002)	章帝八王传	(1039)
琅琊孝王刘京传	(1002)	张皓传	(1043)
朱晖传	(1002)	张纲传	(1043)
朱穆传	(1003)	王龚传	(1044)
乐恢传	(1004)	王畅传	(1044)
何敞传	(1005)	种嵩传	(1045)
邓彪传	(1006)	种岱传	(1046)
张禹传	(1006)	种拂传	(1046)
徐防传	(1007)	种劭传	(1046)
张敏传	(1008)	陈球传	(1046)
胡广传	(1008)	杜根传	(1047)
袁安传	(1009)	翊世传	(1048)
张酺传	(1010)	栾巴传	(1048)
韩棱传	(1012)	刘陶传	(1048)
周荣传	(1012)	李云传	(1050)
郭躬传	(1012)	刘瑜传	(1051)
陈宠传	(1013)	谢弼传	(1052)
班超传	(1014)	虞诩传	(1052)
班勇传	(1018)	傅燮传	(1054)
梁慬传	(1019)	盖勋传	(1055)
杨终传	(1020)	臧洪传	(1056)
李法传	(1021)	张衡传	(1058)
翟酺传	(1021)	马融传	(1059)
应奉传	(1022)	蔡邕传	(1060)
应劭传	(1022)	左雄传	(1064)
霍谞传	(1023)	周举传	(1066)
爰延传	(1024)	周勰传	(1068)
徐璆传	(1024)	黄琼传	(1068)
王充传	(1025)	荀淑传	(1070)
王符传	(1025)	荀爽传	(1071)

荀悦传	(1072)	朱儁传	(1113)
韩韶传	(1073)	刘虞传	(1115)
钟皓传	(1074)	循吏列传序	(1116)
陈寔传	(1074)	卫飒传	(1116)
李固传	(1075)	任延传	(1117)
杜乔传	(1078)	王景传	(1117)
吴祐传	(1079)	秦彭传	(1118)
延笃传	(1080)	王涣传	(1118)
史弼传	(1081)	许荆传	(1119)
卢植传	(1081)	孟尝传	(1119)
赵岐传	(1083)	第五访传	(1120)
皇甫规传	(1084)	刘矩传	(1120)
张奂传	(1086)	刘宠传	(1120)
段熲传	(1087)	仇览传	(1121)
陈蕃传	(1090)	童恢传	(1121)
王允传	(1093)	酷吏列传序	(1122)
党锢列传序	(1094)	董宣传	(1122)
刘淑传	(1096)	樊晔传	(1123)
李膺传	(1096)	李章传	(1123)
杜密传	(1097)	周幼传	(1123)
刘祐传	(1097)	黄昌传	(1124)
魏朗传	(1098)	阳球传	(1124)
夏馥传	(1098)	王吉传	(1125)
宗慈传	(1098)	宦者列传序	(1125)
巴肃传	(1098)	郑众传	(1126)
范滂传	(1098)	蔡伦传	(1127)
尹勋传	(1099)	孙程传	(1127)
蔡衍传	(1100)	曹腾传	(1128)
羊陟传	(1100)	单超传	(1128)
张俭传	(1100)	侯览传	(1129)
岑晊传	(1100)	曹节传	(1129)
陈翔传	(1101)	吕强传	(1130)
孔昱传	(1101)	张让传	(1130)
苑康传	(1101)	儒林列传序	(1132)
檀敷传	(1101)	刘昆传	(1132)
刘儒传	(1101)	眭丹传	(1133)
贾彪传	(1101)	任安传	(1133)
何颙传	(1102)	杨政传	(1133)
郭太传(附左原等传)	(1102)	张兴传	(1133)
符融传	(1103)	戴凭传	(1133)
许劭传	(1103)	孙期传	(1134)
窦武传	(1104)	欧阳歛传	(1134)
何进传	(1106)	牟长传	(1134)
郑太传	(1107)	宋登传	(1134)
孔融传	(1108)	张驯传	(1135)
皇甫嵩传	(1111)	尹敏传	(1135)

周防传	(1135)	边让传	(1145)
孔僖传	(1135)	邴炎传	(1146)
杨伦传	(1136)	侯瑾传	(1146)
高诩传	(1137)	高彪传	(1146)
包咸传	(1137)	张超传	(1146)
魏应传	(1137)	祢衡传	(1146)
伏恭传	(1137)	独行列传序	(1147)
任末传	(1137)	谯玄传	(1148)
景鸾传	(1138)	李业传	(1148)
薛汉传	(1138)	刘茂传	(1149)
杜抚传	(1138)	温序传	(1149)
召驯传	(1138)	彭脩传	(1149)
杨仁传	(1138)	索卢放传	(1150)
赵晔传	(1138)	周嘉传	(1150)
卫宏传	(1138)	范式传	(1150)
董钧传	(1139)	李善传	(1151)
丁恭传	(1139)	王忳传	(1151)
周泽传	(1139)	张武传	(1152)
钟兴传	(1139)	陆续传	(1152)
甄宇传	(1140)	戴封传	(1152)
楼望传	(1140)	李充传	(1153)
程曾传	(1140)	缪彤传	(1153)
张玄传	(1140)	陈重传	(1153)
李育传	(1140)	雷义传	(1153)
何休传	(1140)	范冉传	(1154)
服虔传	(1141)	戴就传	(1154)
颖容传	(1141)	赵苞传	(1155)
谢该传	(1141)	向棚传	(1155)
许慎传	(1141)	谅辅传	(1155)
蔡玄传	(1141)	刘翊传	(1155)
杜笃传	(1142)	王烈传	(1156)
王隆传	(1142)	方术列传序	(1156)
夏恭传	(1142)	任文公传	(1156)
傅毅传	(1142)	郭宪传	(1157)
黄香传	(1142)	许杨传	(1157)
刘毅传	(1143)	高获传	(1157)
李尤传	(1143)	王乔传	(1157)
苏顺传	(1143)	谢夷吾传	(1158)
刘珍传	(1143)	杨由传	(1158)
葛龚传	(1143)	李南传	(1158)
王逸传	(1144)	李邵传	(1159)
崔琦传	(1144)	段熲传	(1159)
边韶传	(1144)	廖扶传	(1159)
张升传	(1144)	折像传	(1159)
赵壹传	(1144)	樊英传	(1160)
刘梁传	(1145)	唐檀传	(1160)

公沙穆传	(1160)	孝女叔先雄传	(1173)
许曼传	(1161)	董祀妻传	(1173)
赵彦传	(1161)	三韩传	(1174)
樊志张传	(1161)	夜郎传	(1175)
单颺传	(1161)	滇传	(1175)
韩说传	(1161)	安息传	(1175)
董扶传	(1162)	大月氏传	(1175)
郭玉传	(1162)	乌桓传	(1176)
华佗传	(1162)	鲜卑传	(1177)
徐登传	(1163)		
费长房传	(1163)		
荀子训传	(1164)		
刘根传	(1164)		
左慈传	(1164)	武帝纪	(1183)
逸民列传序	(1165)	文帝纪	(1193)
向长传	(1165)	明帝纪	(1195)
逢萌传	(1165)	齐王纪	(1200)
周党传	(1166)	高貴乡公纪	(1202)
王霸传	(1166)	陈留王纪	(1207)
严光传	(1166)	后妃传	(1209)
井丹传	(1167)	董卓传(附李傕、郭汜传)	(1213)
梁鸿传	(1167)	袁绍传	(1216)
高凤传	(1168)	袁术传	(1220)
台佟传	(1168)	刘表传	(1220)
韩康传	(1168)	吕布传(附张邈、陈登传)	(1222)
矫慎传	(1168)	臧洪传	(1224)
戴良传	(1168)	公孙瓒传	(1226)
法真传	(1169)	陶谦传	(1227)
汉阴老父传	(1169)	张扬传	(1228)
陈留老父传	(1169)	公孙度传	(1228)
庞公传	(1169)	张燕传	(1229)
鲍宣妻传	(1169)	张绣传	(1229)
王霸妻传	(1170)	张鲁传	(1230)
姜诗妻传	(1170)	夏侯惇传	(1230)
周郁妻传	(1170)	夏侯渊传	(1231)
曹世叔妻传	(1170)	曹仁传	(1232)
乐羊子妻传	(1171)	曹洪传	(1233)
程文矩妻传	(1171)	曹休传	(1233)
孝女曹娥传	(1171)	曹真传	(1234)
吴许升妻传	(1171)	曹爽传	(1235)
袁隗妻传	(1172)	夏侯尚传(附夏侯玄传)	(1236)
庞淯母传	(1172)	荀彧传	(1239)
刘长卿妻传	(1172)	荀攸传	(1241)
皇甫规妻传	(1172)	贾诩传	(1242)
阴瑜妻传	(1172)	袁涣传	(1244)
盛道妻传	(1173)	张范传(附张承传)	(1245)

### 《三国志》

凉茂传	(1245)	任城威王曹彰传	(1290)
国渊传	(1246)	陈思王曹植传	(1290)
田畴传	(1246)	邓哀王曹冲传	(1294)
王修传	(1247)	中山恭王曹衮传	(1294)
邴原传	(1248)	赵王曹幹传	(1295)
管宁传(附王烈等传)	(1249)	楚王曹彪传	(1296)
崔琰传	(1251)	王粲传(附徐幹等传)	(1296)
毛玠传	(1252)	卫觊传	(1298)
徐奕传	(1253)	刘廙传	(1299)
刑颙传	(1254)	刘劭传	(1299)
鲍勋传	(1254)	傅嘏传	(1300)
司马芝传(附司马岐传)	(1255)	桓阶传	(1302)
钟繇传	(1256)	陈群传(附陈泰传)	(1302)
华歆传	(1258)	陈矫传	(1306)
程昱传	(1259)	徐宣传	(1207)
郭嘉传	(1260)	卫臻传	(1308)
董昭传	(1261)	卢毓传	(1309)
刘晔传	(1264)	和洽传	(1310)
蒋济传	(1266)	常林传	(1311)
刘放传	(1268)	杨俊传	(1312)
刘馥传	(1269)	杜袭传	(1312)
司马朗传	(1270)	赵俨传	(1313)
梁习传	(1271)	裴潜传	(1315)
张既传	(1271)	韩暨传	(1315)
温恢传	(1273)	崔林传	(1316)
贾逵传	(1273)	高柔传	(1317)
任峻传	(1275)	孙礼传	(1319)
苏则传	(1275)	王观传	(1320)
杜畿传	(1276)	辛毗传	(1321)
郑浑传	(1278)	杨阜传	(1322)
仓慈传	(1279)	高堂隆传(附栈潜传)	(1324)
张辽传	(1279)	满宠传	(1328)
乐进传	(1281)	田豫传	(1330)
于禁传	(1281)	牵招传	(1331)
张郃传	(1282)	郭淮传	(1332)
徐晃传(附朱灵传)	(1283)	徐邈传	(1333)
李典传	(1284)	胡质传	(1334)
李通传	(1285)	王昶传	(1335)
臧霸传	(1285)	王基传	(1337)
文聘传	(1286)	王凌传(附令狐愚传)	(1339)
吕虔传	(1287)	毌丘俭传	(1339)
许褚传	(1287)	诸葛亮传	(1340)
典韦传	(1288)	邓艾传	(1341)
庞德传	(1288)	钟会传	(1345)
庞涓传	(1289)	华佗传(附吴普、樊阿传)	(1348)
阎温传	(1289)	杜夔传	(1349)

朱建平传	(1350)	杨洪传	(1388)
周宣传	(1350)	费诗传	(1389)
管辂传	(1351)	杜微传	(1389)
乌丸、鲜卑、东夷传	(1353)	周群传	(1390)
刘焉传	(1357)	杜琼传	(1390)
刘璋传	(1358)	许慈传	(1391)
先主传	(1358)	孟光传	(1391)
后主传	(1363)	来敏传	(1391)
先主甘皇后传	(1365)	尹默传	(1392)
先主穆皇后传	(1365)	李譔传	(1392)
后主敬哀张皇后传	(1366)	谯周传	(1392)
后主张皇后传	(1366)	郤正传	(1394)
刘永传	(1366)	黄权传(附黄崇传)	(1396)
刘理传	(1366)	李恢传	(1396)
后主太子刘璿传	(1366)	吕凯传	(1397)
诸葛亮传	(1366)	马忠传	(1397)
关羽传	(1370)	王平传	(1398)
张飞传	(1371)	张嶷传	(1398)
马超传	(1372)	蒋琬传(附蒋斌等传)	(1400)
黄忠传	(1372)	费祎传	(1401)
赵云传	(1373)	姜维传	(1401)
庞统传	(1373)	邓芝传	(1403)
法正传	(1374)	张翼传	(1404)
许靖传	(1376)	宗预传(附廖化传)	(1404)
麋竺传	(1377)	杨戏传(附邓孔山等传)	(1404)
孙乾传	(1377)	孙坚传	(1407)
简雍传	(1377)	孙策传	(1408)
伊籍传	(1378)	吴主孙权传	(1409)
秦宓传	(1378)	孙亮传	(1416)
董和传	(1379)	孙休传	(1417)
刘巴传	(1380)	孙皓传	(1419)
马良传(附马谡传)	(1380)	刘繇传(附刘基传)	(1422)
陈震传	(1380)	太史慈传	(1422)
董允传(附黄皓、陈祗传)	(1381)	士燮传(附士徽等传)	(1424)
吕乂传	(1382)	孙破虏吴夫人传	(1425)
刘封传	(1382)	吴主孙权谢夫人传	(1425)
彭羕传	(1383)	吴主孙权徐夫人传(附徐琨传)	(1425)
廖立传	(1384)	吴主孙权步夫人传	(1425)
李严传	(1384)	吴主孙权王夫人传	(1426)
刘琰传	(1385)	吴主孙权王夫人传	(1426)
魏延传	(1385)	吴主孙权潘夫人传	(1426)
杨仪传	(1386)	孙亮全夫人传	(1426)
霍峻传(附霍弋传)	(1386)	孙休朱夫人传	(1426)
王连传	(1387)	孙和何姬传	(1427)
向朗传(附向宠传)	(1387)	孙皓滕夫人传	(1427)
张裔传	(1387)	孙静传(附孙瑜等传)	(1427)

孙策传(附孙邻等传) .....	(1428)	孙霸传 .....	(1471)
孙辅传 .....	(1429)	孙奋传 .....	(1471)
孙翊传(附孙松传) .....	(1429)	贺齐传 .....	(1472)
孙匡传 .....	(1429)	全琮传 .....	(1473)
孙韶传 .....	(1429)	吕岱传 .....	(1474)
孙桓传 .....	(1430)	周鲂传 .....	(1475)
张昭传 .....	(1430)	钟离牧传 .....	(1477)
顾雍传(附顾邵等传) .....	(1431)	潘濬传 .....	(1478)
诸葛瑾传(附诸葛融传) .....	(1433)	陆凯传(附陆胤传) .....	(1478)
步骘传(附步阐传) .....	(1434)	是仪传 .....	(1482)
张紘传(附张玄、张尚传) .....	(1436)	胡综传 .....	(1482)
严畯传(附裴玄传) .....	(1437)	吴范传 .....	(1485)
程秉传 .....	(1437)	刘惇传 .....	(1485)
阚泽传(附唐固传) .....	(1437)	赵达传 .....	(1486)
薛综传(附薛莹传) .....	(1438)	诸葛恪传(附聂友传) .....	(1486)
周瑜传 .....	(1440)	滕胤传 .....	(1491)
鲁肃传 .....	(1442)	孙峻传 .....	(1491)
吕蒙传 .....	(1443)	孙𬘭传 .....	(1491)
程普传 .....	(1446)	濮阳兴传 .....	(1493)
黄盖传 .....	(1446)	王蕃传 .....	(1493)
韩当传 .....	(1447)	楼玄传 .....	(1494)
蒋钦传 .....	(1447)	贺邵传 .....	(1494)
周泰传 .....	(1448)	韦曜传 .....	(1496)
陈武传(附陈脩、陈表传) .....	(1448)	华核传 .....	(1497)
董袭传 .....	(1449)		
甘宁传 .....	(1449)		
凌统传 .....	(1450)		
徐盛传 .....	(1451)		
潘璋传 .....	(1451)		
丁奉传 .....	(1452)		
朱治传 .....	(1453)		
朱然传(附朱绩传) .....	(1453)		
吕范传(附吕据传) .....	(1455)		
朱桓传(附朱异传) .....	(1455)		
虞翻传 .....	(1457)		
陆绩传 .....	(1458)		
张温传 .....	(1458)		
骆统传 .....	(1460)		
陆瑁传 .....	(1461)		
吾粲传 .....	(1462)		
朱据传 .....	(1462)		
陆逊传 .....	(1462)		
陆抗传 .....	(1466)		
孙登传 .....	(1468)		
孙虑传 .....	(1470)		
孙和传 .....	(1470)		
		《晋书》	
宣帝纪 .....	(1503)		
文帝纪 .....	(1509)		
武帝纪 .....	(1512)		
惠帝纪 .....	(1520)		
怀帝纪 .....	(1526)		
愍帝纪 .....	(1528)		
元帝纪 .....	(1531)		
明帝纪 .....	(1534)		
成帝纪 .....	(1536)		
孝武帝纪 .....	(1540)		
安帝纪 .....	(1545)		
恭帝纪 .....	(1549)		
宣穆张皇后传 .....	(1550)		
武悼杨皇后传 .....	(1550)		
康献褚皇后传 .....	(1551)		
王祥传 .....	(1552)		
何曾传 .....	(1553)		
石崇传 .....	(1554)		

羊祜传	(1556)	张辅传	(1631)
杜预传	(1561)	李含传	(1631)
裴秀传	(1563)	张方传	(1633)
裴𬱟传	(1565)	刘琨传	(1633)
卫瓘传	(1566)	祖逖传	(1636)
张华传	(1568)	李矩传	(1638)
王沈传	(1571)	段匹磾传	(1639)
荀𫖮传	(1572)	王导传	(1640)
荀勗传	(1573)	刘弘传	(1644)
杨骏传	(1575)	陶侃传	(1646)
刘寔传	(1576)	温峤传	(1650)
王济传	(1578)	郗鉴传	(1654)
王濬传	(1579)	顾荣传	(1656)
山涛传	(1582)	周𫖮传	(1658)
王戎传	(1584)	郭璞传	(1659)
王衍传	(1586)	葛洪传	(1664)
刘毅传	(1587)	庾亮传	(1665)
刘颂传	(1589)	王述传	(1668)
李重传	(1592)	王彪之传	(1669)
傅玄传	(1593)	顾众传	(1671)
傅咸传	(1595)	何充传	(1672)
向雄传	(1598)	殷浩传	(1673)
阮籍传	(1599)	谢尚传	(1674)
阮咸传	(1600)	谢安传	(1675)
阮瞻传	(1600)	谢琰传	(1677)
嵇康传	(1600)	谢玄传	(1678)
向秀传	(1602)	王羲之传	(1680)
刘伶传	(1602)	王献之传	(1683)
谢鲲传	(1603)	桓宣传	(1684)
郭象传	(1604)	桓伊传	(1685)
皇甫谧传	(1604)	朱伺传	(1685)
挚虞传	(1607)	朱序传	(1686)
束皙传	(1609)	陈寿传	(1687)
愍怀太子遹传	(1611)	司马彪传	(1688)
陆机传	(1613)	孙盛传	(1688)
陆云传	(1615)	干宝传	(1689)
夏侯湛传	(1616)	习凿齿传	(1689)
潘岳传	(1618)	车胤传	(1690)
张载传	(1619)	王恭传	(1691)
江统传	(1620)	刘牢之传	(1692)
孙楚传	(1623)	殷仲堪传	(1694)
罗宪传	(1624)	刘毅传	(1697)
周处传	(1624)	张轨传	(1699)
汝南王亮传	(1625)	嵇绍传	(1701)
赵王伦传	(1626)	王豹传	(1702)
齐王冏传	(1629)	刘敏元传	(1703)

乐道融传	(1704)	倭人传	(1715)
胡威传	(1704)	林邑国传	(1715)
曹摅传	(1705)	王敦传	(1716)
吴隐之传	(1705)	桓温传	(1719)
左思传	(1706)	桓玄传	(1723)
袁宏传	(1707)	卢循传	(1729)
顾恺之传	(1707)	刘元海传	(1729)
孙登传	(1708)	石勒传	(1733)
鲁褒传	(1708)	苻坚传	(1747)
戴逵传	(1709)	姚兴传	(1756)
陶潜传	(1710)	李特传	(1765)
佛图澄传	(1711)	吕光传	(1768)
王嘉传	(1713)	慕容垂传	(1772)
鸠摩罗什传	(1714)	慕容宝传	(1778)

— 中 华 全 二 十 六 史 —



原著 「南朝·宋」范晔

主编 夏南强

参译者

刘友三 陈治平 夏步贤

夏桂苏 熊茂萱



## 光武帝纪

(上)

世祖光武皇帝刘秀，字文叔，南阳蔡阳人，高祖刘邦第九代孙。出自景帝所生长沙定王刘发。刘发生春陵节侯刘买，刘买生郁林太守刘外，刘外生巨鹿都尉刘回，刘回生南顿令刘钦，刘钦生光武。光武九岁丧父，为叔父刘良抚养。身高七尺三寸，美须眉，大口，鼻子高高的，额角饱满。爱农业劳动。他哥哥伯升却好侠养士，常诽笑光武从事田业，把他比作治产业的高祖兄刘仲。王莽天凤年间，刘秀到长安，读《尚书》，大略通晓当中道理。

王莽末年，国内连年蝗灾，盗贼蜂起。地皇三年（22），南阳饥荒，各家门客多为小盗。光武到新野避乱，将收获的谷物在宛城出卖。宛人李通等以谶纬符命对光武说：“刘氏复起，李氏为辅。”光武乍听觉得不敢当，但转念哥哥伯升广交食客，必举大事。而且王莽已露出败亡的迹象，天下正乱，便和他们合计谋划，决定举兵起事，购买兵器。十月，与李通堂弟李轶等在宛城起兵，时年二十八岁。

十一月，彗星出现于南方张宿。光武便带领宾客回到舂陵。这时伯升已会众起兵。起始，各家子弟害怕，都逃亡避匿，说：“伯升要杀我们！”等到看见光武绛衣武冠，都惊异地说：“谨慎厚道的文叔也起兵了啊！”大家才安定下来。伯升于是招新市、平林兵，与其首领王凤、陈牧向西攻打长聚。光武先骑牛，杀新野尉才得以骑马。进屠唐子乡，又杀掉了湖阳尉。军中所获财物分配不均，大伙愤恨，想反攻诸刘氏。光武便收本宗人所得财物，全分给大家，众人才喜悦。便进攻拔取棘阳，与王莽前队大夫甄阜、属正梁丘赐战于小长安，汉军大败，退守棘阳。

更始元年（23）正月初一，汉军又与甄阜、梁丘赐战于泚水西，大破之，杀掉了甄阜、梁丘赐。伯升在淯阳又打败王莽纳言将军严尤、秩宗将军陈茂，进而围攻宛城。

二月初一，拥立刘玄为天子，刘玄任命伯升为大司徒，光武为太常偏将军。

三月，光武另与诸将攻打昆阳、定陵、郾，都攻下了。得牛马财物很多，谷数十万斛，转运供给宛城下部队。王莽得知甄阜、梁丘赐被杀，汉帝已立，十分恐惧，于是派大司徒王寻、大司空王邑领兵百万，其中披甲将士四十二万人。五月，到达颍川，又与严尤、陈茂部队汇合。起初，光武曾为舂陵侯佃户欠租投诉于严尤，严尤

见光武奇相而惊异。到这时，城中投降严尤的人说光武不要财物，只收集兵马出谋定策。严尤笑着说：“就是那个须眉浓美的汉子吗？他怎么竟干这种事呢！”

初始，王莽征集天下能懂兵法的六十三家共数百人，并任为军吏；挑选训练警卫，招募猛士，旌旗辎重，千里不绝。当时有个巨人叫巨无霸，身高一丈，腰粗十围，被任命为军垒尉官；驱使猛兽虎豹犀象，以助军威。出师的盛况，为秦汉以来所没有过的。光武统兵数千，在阳关拦截王莽军。诸将见王寻、王邑军队强大，掉头逃跑，奔回昆阳，都很害怕，担心妻室儿女，想分散返回各自的城邑。光武提议说：“现在我们兵力和粮草都少，而外寇强大，合力抵抗，功绩或许可以建立；如果分散开来，势必都不能保全。而且宛城没有攻下，那边的部队不能救助我们，昆阳一旦攻破，一天之内，我们所有各部都将被消灭掉。现在我们不同心合力共举功名，反而想守住妻子儿女和财物吗？”诸将领愤怒地说：“刘将军何以竟然说这种话！”光武含笑起立。这时恰好了望敌人的骑兵回来，说大量的敌人将到城北，军马队列数百里，看不到队尾。诸将连忙相互说道：“还是请刘将军出主意对付。”光武又为大家谋划成败策略。诸将领忧愁窘迫，都说：“就照这样办！”这时，城中只有八九千人，光武便叫成国上公王凤、廷尉大将军王常守城，自己与骠骑大将军宗佻、五威将军李轶等十三人骑马夜出城南门，在外面组织兵力。这时王莽军队已有近十万到了城下，光武差点儿走不出城。到了郾、定陵，将各兵营军队悉数调发，而诸将贪惜财货想分兵留守。光武说：“现在假如打败了敌人，珍宝万倍，大功可成；假如被敌人打败，我们的头颅也保不住，哪还有什么财物呢？”大家才依从了光武的意见。

严尤劝王邑说：“昆阳城小而坚固，现僭称帝王的刘玄在宛城，我们快速派遣大军攻击，他们必定逃跑；宛城兵败，昆阳自然归服。”王邑说：“过去我以虎牙将军身份围攻翟义，因不曾活捉他而受到责备。现在率百万大军，碰上城池不能拿下来，怎么说得过去呢？”于是将昆阳包围几十重，扎营数百个，立起云车，高十余丈，俯视城中，旗帜遍野，尘埃满天，金鼓之声闻数百里。有的部队挖掘地道，有的部队用橦车楼车攻城。弓弩乱发，箭下如雨，城中人背着门板才能打水。王凤等求降，未得允许。王寻王邑自以为成功在顷刻之间，意气闲逸自得，夜有流星坠落兵营，白天有云团，如崩塌的山般当营陨落，离地不到一尺才散，军吏士卒都趴伏在地上。

六月初一，光武便与军队一同前进，自率骑兵步兵千余，在王莽大军前四五里布阵，王寻、王邑也发兵数千交战。光武冲杀敌军，斩首数十。众部下高兴地说：“刘将军平生见小敌胆怯，今见大敌勇敢，很是奇怪，而

且又到前面去了。我们应协助刘将军！”光武向敌人冲去，王邑、王寻部队退却，部众乘胜进击，斩敌成百上千。连连得胜，于是向前推进。这时，伯升已攻克宛城三日，而光武还不知道，便派人假装成宛城下部队使者，带书报告城中，说“宛城下援军开到”，却故意不小心将书信遗失。王寻、王邑得信，心中不快。诸将已经几次告捷，胆气更壮，无不以一当百。光武便与敢死队三千人，从城西水上冲敌中坚，王寻、王邑军阵紊乱，光武乘锐气摧毁敌阵，杀了王寻。昆阳城中也击鼓呐喊冲杀而出，内外合击，声震天地，莽军大败，奔逃的兵士互相践踏，死伤者遍布百余里。天空恰巧大雷狂风，屋瓦都刮飞了。大雨倾盆，滍川河水暴涨，虎豹都吓得四腿直抖，士卒争先渡河，溺死的以万数，河水为之不流，王邑、严尤、陈茂轻装骑马，踏着死人渡河逃走，光武尽得莽军粮草器械，战车、盔甲、珍宝不计其数，几个月运不完，只好将剩下的烧掉了事。

光武乘势又攻下颍阳。适逢伯升被更始所害，光武从父城奔往宛城谢过。司徒官属迎接慰问光武，光武难以与他们背地里交谈，深为引过而已。不曾以伐昆阳居功，又不敢为伯升服丧，饮食言笑如平常一样。更始因此内心愧疚，拜光武为破虏大将军，封武信侯。

九月初三，三辅豪杰合力杀了王莽，并将他头颅送到宛城。

更始打算北上，建都洛阳，便让光武代理司隶校尉，要他前往整理修缮宫殿官府。光武于是设置下属官吏，起草公文，以从事史察举非法，一切照汉代旧有制度办事。这时三辅官员东迎更始，见诸将走过，都戴平民头巾，穿女人衣服，大被衣加上绣花的半臂衣，没有不笑话他们的。有的还因为他们所服“不祥”而畏惧患祸逃开。及至见到光武的僚属，都不胜欣喜。年老的官员有的掉泪说：“想不到今天又见到了汉家官员威严的仪表啊！”从此有见识的人都归心于光武了。

及至更始到了洛阳，便任光武为破虏将军代行大司马的职务。十月，光武拿着符节渡黄河北上，安定抚慰州郡官民。所到郡县，就会见郡守、长吏、三老、官属，下至佐史，考察升降事宜，好像州牧巡视郡国办事一样。平反错案，遣放囚犯，除掉王莽时的苛政，恢复汉室官名，官民喜悦，争以牛酒迎接慰劳。

进至邯郸，已故赵缪王子刘林向光武献策说：“赤眉军现在河东，只要决开黄河淹灌他们，赤眉百万军队可成为鱼。”光武不答，而去真定。刘林就伪称占卜的王郎是成帝的儿子刘子舆，十二月，立王郎为天子，定都邯郸，并派遣使者招降下属郡国。

更始二年（24）正月，光武因为王郎新起势盛，便北上巡视蓟地。王郎发布檄文，许诺捕杀到光武的封以十万户的爵位。而已故广阳王刘嘉的儿子刘接，起兵蓟中

以策应王郎，蓟城城内扰乱，人民相继惊恐起来，并传说邯郸派来的使者刚到，二千石以下的官员都出去欢迎。于是光武急忙驾车南奔，早晨夜晚都不敢进城，就在道旁食宿。到达饶阳，官属都没有吃的了。光武就自称是邯郸派来的使者，进入客栈。客栈的小吏正在用餐，光武随从饥饿得很，便抢饭吃。客栈的小吏怀疑光武是假冒，便击鼓数十通，谎称邯郸将军到，官属都吓得变了脸色。光武上车想要奔逃，但转念怕跑不了，便从容坐到原位，说：“请邯郸将军进来！”许久，才驾车离去。客栈的人远远地叫守门者不放行。守门的官长说：“天下大局岂可预知？能阻拦长者吗？”光武才得南行。日夜兼程，蒙霜冒雪，时正天寒，脸面都冻裂了。到了呼沱河，没有船，恰值河面封冻，得踏冰而过，队伍未过完，几辆车竟陷入水里。到达下博城西，彷徨困惑，不知往哪里走为好。有白衣老头在道旁说：“赶快走，信都郡的人还在为长安政权坚守着，那儿离这里八十里。”光武马上赶去，太守任光开门迎接。光武便征发周围各县兵马，共得四千人，首先攻打堂阳、菑县，两地都投降了光武。王莽和成卒正邵彤也领全郡投降。又有昌城人刘植、宋子人耿纯带领宗亲子弟，占领各自所在县城，奉献给光武，于是往北攻下曲阳，部众渐渐地集聚起来，乐意依附光武的达到数万人。

光武又北击中山，克卢奴，所到之处，征发“奔命兵”，发送檄文到边境各部，要他们一同攻打邯郸，各郡县回书响应。南向攻克新市、真定、元氏、防子，于是进入赵地境界。

这时王郎大将李育驻兵柏人，汉军不知道，向前推进，前军偏将朱浮、邓禹被李育打败，丢失辎重。光武在后面闻悉，收集朱浮、邓禹所散失的兵卒，与李育战于柏人城门，大败李育军，全部夺回李育从朱浮、邓禹部队抢获的辎重。李育退回保守城池，光武攻城不下，于是引兵占领广阿。正好上谷太守耿况、渔阳太守彭宠，各派自己的将领吴汉、寇恂等率领突骑帮助攻打王郎，更始也派尚书仆射谢躬讨伐王郎，光武乘机大设酒宴慰劳将士，东进包围巨鹿。王郎守将王饶坚守，一个多月没攻下。王郎派将领倪宏、刘奉领数万人援救巨鹿，光武迎战于南棘，杀数千人。四月，光武进军围攻邯郸，连战连捷。五月初一，攻克邯郸，杀王郎。在缴获的文书巾，光武发现部下官员和王郎勾结来往毁谤自己的书信有几千份。光武不看，召集将军们当面一把火烧掉，说：“让那些睡不着觉的人安下心来吧！”

更始派侍御史拿着符节封光武为萧王，教他完全停止军事行动到更始所在的地方去。光武托辞黄河以北还没有平定，不接受征召。从此，他和更始就不是一条心了。

这时长安政治混乱，到处反叛更始。梁王刘永在睢